

「播磨町都市計画マスタープラン」

の策定にあたって



播磨町は、令和3年4月より新たな総合計画を策定し「いいところいっぱい！ 笑顔いっぱい！ みんなでつくる ふるさと はりま」をキャッチフレーズに新たなまちづくり計画に取り組んでいます。

本町は自然豊かな歴史・文化資源と住環境が調和した兵庫県下で最小のまちです。また、コンパクトな住宅都市であると同時に大規模工場が数多く立地する産業都市でもあります。近年は、予測不可能な自然災害や世界規模での感染症の拡大など、目まぐるしく変化する社会情勢の中、それらに柔軟に対応できる安心・安全なまちづくり、持続可能なまちづくりが求められています。

本町は昭和、平成、令和の時代を経て令和4年に町制施行60周年を迎えます。本計画において「未来につながる持続可能なまちづくり みんなでめざす 住みよい はりま」を都市づくりの目標として設定し、住民と行政の協働のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり多大なご尽力をいただきました「播磨町都市計画マスタープラン策定委員会」の皆様をはじめ、ご意見、ご指導をいただきました住民の皆様、多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

播磨町長

清水ひろ子